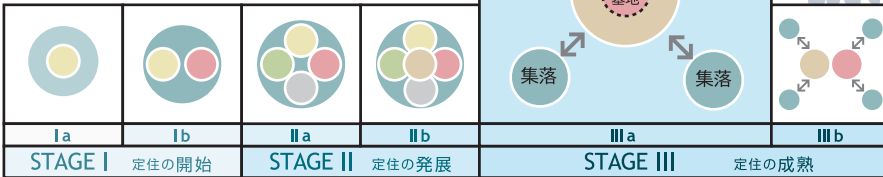
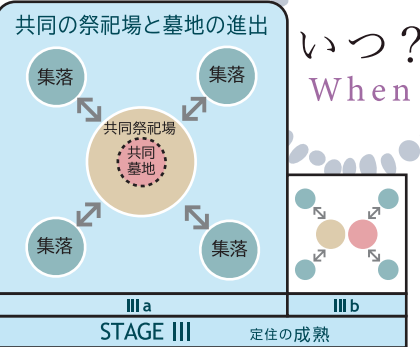


# ストーンサークルの謎

**縄文時代後期**に出現したストーンサークル。  
縄文人は、なぜこの場所を選び、何をするために、  
こんなにも大がかりなものを作ったのでしょうか？  
考えれば考えるほどミステリアス。  
この場所に立つと、少しだけ縄文人のココロに  
近づけるような気がしてきます。



縄文時代の後半を迎えると、気候が冷涼化してムラは小さくなり分散して住むように。その頃に「ストーンサークル」が出現しました。



どこに？  
Where

場所の選定はとっても大事！シンボリックな山や海があったり、太陽の運行と深く関わっている場所だったり…。

周辺のムラから集まった大勢の人たちが、何kmも離れた場所から重たい石を運び、何十年もかけて作ったと言われるものも。

だれが？  
Who

命の誕生や再生、豊かな実り、自然災害からの安全…等を祈っていた、と言われています。

なんのため？  
Why

どんなかたち？  
Shape

大きさ、石の数や積み方、円環の数、お墓の有無、出土品など、その特徴や形態は様々。たくさんの謎に包まれています。

## 気候変動と縄文人の暮らし

「完新世に起こった4.2kイベント」。この4,200年前に起こった寒冷・乾燥化は、エジプトの古王朝、メソポタミアのアッカド王国、中国の良渚文化をも崩壊に導いたといわれている。日本の縄文文化もその例外ではない。青森県の三内丸山遺跡や北海道の大船遺跡などの拠点集落もこの頃には姿を消し、集落の縮小・分散が顕著になる。生活環境が急速に悪化したためだろう。集落の縮小・分散が一番困るのは、若者の減少で集落内での婚姻が極めて限定されることである。安定したDNAの存続、いわゆる子孫繁栄のため、縄文人はどんな知恵を生み出したのだろうか？

C.Abe

## 世界遺産のストーンサークル

構成資産 関連資産

わしのきいせき  
史跡 鷺ノ木遺跡  
(北海道森町)

富士山の形の駒ヶ岳をみながら。

北海道最大の環状列石。当時富士山の形だった駒ヶ岳の噴火によって火山灰に覆われ、遺跡が良好に保存されています。



三角形岩版



こまきのいせき  
史跡 小牧野遺跡  
(青森県青森市)

今も昔も神聖な場所！？

八甲田山の西麓に位置。三重の環になっていて、直径が55mあります。後の時代に立石を利用して作られた馬頭観音碑が立っています。



おおもりかつやまいせき  
史跡 大森勝山遺跡  
(青森県弘前市)

冬至の太陽

春に向かう喜びを感じる冬至の日に、岩木山の山頂に太陽が沈みます。岩木山とストーンサークルを結ぶ直線状には、大規模竪穴住居跡も見つっています。



円盤状石製品



構成資産



板状土偶

おおゆかんじょうれっせき  
特別史跡 大湯環状列石  
(秋田県鹿角市)

夏至の太陽

万座・野中堂の2つの環状列石があり、夏至の日の日没方向がわかる配置に。太陽の運行を知る点では、イギリスのストーンヘンジと同じ。



土版



構成資産

いせどうたいいせき  
史跡 伊勢堂岱遺跡  
(秋田県北秋田市)

謎に包まれた4つのサークル

白神山地などの山並みが一望できる場所に、直径30mを超えるストーンサークルがなぜ4つ並んで作られたのかは謎。



構成資産